

# あおもり県議会だより

## 平成31年 2月 第297回 定例会

### 2月定例会の概要



耐震・長寿命化改修工事が終了しました。

### 平成31年度一般会計予算案 (6,650億円)などを可決

平成31年2月第297回定例会は、2月21日に開会され、3月15日までの23日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、「平成31年度青森県一般会計予算案」をはじめ、100件の議案及び14件の報告が上程され、三村知事から、昨年12月に策定した青森県基本計画に基づき、「選ばれた青森『食と観光成長プロジェクト』」、「多様なしごと創出プロジェクト」、「住みたいあおもり『若者・女性プロジェクト』」、「未来へつなぐ『地域ゆりかご』プロジェクト」及び「健康ライフ実現プロジェクト」の5つの戦略プロジェクトを進めるための、平成31年度の重点施策の概要説明や提案理由説明がありました。

2月27日から4日間にわたり行われた一般質問では、13名の議員が登壇し、「選ばれた青森」の実現に向けた施策の推進などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。また、3月1日には、平成30年度一般会計補正予算(第4号)案をはじめとした19件の議案が追加上程されました。

3月6日から7日まで議案に関する質疑が行われ、担い手確保・経営強化支援事業の内容等について、質疑・答弁がありました。また、6日及び7日の質疑終了後、議案の採決が行われ、知事提出議案20件、報告1件及び議員提出議案1件が可決・承認されました。

採決された議案を除く議案のうち、平成31年度予算に関する17議案は予算特別委員会に、人事案件を除く議案81件及び請願1件は各常任委員会に付託され、予算特別委員会は3月8日から11日に、常任委員会は3月13日に開かれ、それぞれ審議されました。

最終日の3月15日は、予算特別委員会及び各常任委員会の審査内容の報告・討論が行われたのち採決が行われ、知事提出議案99件、議員提出議案1件が可決・同意されました。

### 目次

- 2月定例会の概要 …… P01
- 一般質問の内容 …… P02
- 特別委員会 …… P08
- 高校生模擬議会 …… P10
- 請願・陳情について …… P11
- 可決された議案 他 …… P12



### 議員の議案提出権

### まめちしき

普通地方公共団体の議会の議員は、議会の議決すべき事件について、議案を提出することができることとされている(地方自治法第112条)。今定例会において議員より提出され、可決された「青森県がん対策推進条例の一部を改正する条例案」は、第288回定例会(平成28年11月)において議員より提出され、可決された条例について、受動喫煙の防止に係る県民、多数の者が利用する施設の管理者及び20歳未満の者に対する監督保護を有する保護者が配慮しなければならない事項を定めるため、提出されたものである。



丸井 裕 議員  
 会 派：自由民主党  
 選挙区：十和田市

問

青森県基本計画の推進

「選ばれる青森」の実現に向けて、どのように施策を推進していくのか。

答

三村知事

「5つの戦略プロジェクト」を核として、本県の強みである農林水産分野と観光分野の更なる成長をめざすとともに、魅力ある多様なしごとづくりを強化する。若者・女性の県内定着・還流、県民の健康づくり、労働力不足、2025年超高齢化時代への対応などの課題に対しても集中的に取り組を展開し、最重要課題である人口減少の克服に向けた取組を強力に進めていく。



5つの戦略プロジェクト

人口減少克服に向けて、特に重点的に取り組むべきテーマ。

- ①「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト
- ②多様なしごと創出プロジェクト
- ③「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト
- ④未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト
- ⑤健康ライフ実現プロジェクト

問

攻めの農林水産業

青森県総合販売戦略第4ステージにおける特徴的な取組について伺う。

答

農林水産部長

成長を続ける中食・総菜分野やネット販売などへの売込み強化、SNSでの情報発信・拡散を促す注目度の高いイベントの開催等をこれまで以上に進める。また、おうとう「ジユノハート」や酒造好適米「吟烏帽子(ぎんえぼし)」等新たなブランドの育成、地域の特色ある「食」を観光コンテンツとして情報発信、さらに、産地直売施設について、会員の高齢化対策や地域の買物弱者支援などの機能強化に取り組む。

問

原子力政策

原子力をめぐる厳しい情勢を踏まえ、原子力政策に対する県の見解を伺う。

答

三村知事

我が国は、一貫して原子力発電及び核燃料サイクルの推進を基本方針としてきており、国策である原子力政策は、国において立地地域の現状やこれまでの協力関係を十分に踏まえ、課題を解決しながら、中長期的に責任をもって取り組んでいきたい。また、本県原子力施設は、何よりも安全の確保が第一であり、事業者は、安全性のさらなる向上に一層の責任と使命感をもって取り組むことが重要である。引き続き県民の安全・安心を守る立場から、国・事業者の対応を厳しく見極め、適切に対応していく。



横浜 力 議員  
 会 派：自由民主党  
 選挙区：むつ市

問

クロマグロの資源管理

クロマグロの資源管理について、来期に向けて県はどのように取り組んでいくのか。

答

三村知事

本県の漁獲枠を最大限活用していく必要があり、今期は、魚価の高い秋以降に枠を残した漁業者が、十分に活用できなかったことや、融通等に期間を要し、操業を控えざるを得なかったことなどが課題として挙げられたため、来期に向けて、必要最小限の留保枠設定や変更手続の簡素化などを盛り込んだ県計画案を作成している。また、国に対しては、我が国の漁獲枠拡大について、引き続き要望していく。



県産クロマグロ





せき りょう  
**関 良 議員**  
会 派：青和会  
選挙区：青森市

問

若者の県内定着

若者がふるさとで夢を実現できる環境づくりが重要と考えるが、若者の県内定着促進に向けた県の基本的な考えを伺う。

答

三村知事

魅力ある雇用の創出・拡大、ふるさとへの自信と誇りの醸成が極めて重要と考える。「多様なしごと創出プロジェクト」に基づく創業・起業の推進、若者の関心が高い産業分野の誘致活動強化や、「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクトに基づく本県の「暮らし」や「しごと」に関する確かな情報提供、魅力ある生活環境づくりなどに取り組んでいく。

用語解説



立地適正化計画

市町村が都市全体を見渡しなが、将来の人口予測や財政状況を踏まえて、都市の将来像を示したマスタープラン。これにより、都市計画と民間施設誘導の融合などによる新しいまちづくりが可能となる。

問

立地適正化計画

立地適正化計画制度の活用による人口減少や高齢化に対応したまちづくりに向けた県内市町村の取組状況と県の取組について伺う。

答

県土整備部長

県内の取組状況は、青森市、弘前市、八戸市、十和田市、むつ市の計5市が立地適正化計画を策定済みであり、策定中の黒石市と五所川原市を併せ、平成30年度末には県内7市で策定済となる予定である。県はこれまで、知事によるトップセミナーの開催や、市町村向けの説明会など、様々な機会を通して県内市町村に計画策定について働きかけてきており、引き続き市町村の計画策定を促していく。

問

健康増進の取組

健康・長生きで安心して暮らせる青森県の実現に向け、働き盛り世代の健康づくりは今後どのように取り組んでいくのか。

答

三村知事

働き盛り世代の死亡率の改善は、健康長寿県の実現に向けて大きな課題となっており、ことから、県民一人ひとりの「健やか力」の向上に取り組むとともに、健康経営に取り組み企業を支援する青森県健康経営認定制度の実施や、全国健康保険協会青森支部など関係機関と一層連携を図りながら、働き盛り世代の健康づくりを推進する。



たなか みつる  
**田中 満 議員**  
会 派：国民民主党  
選挙区：八戸市

問

農業の労働力不足

スマート農業など先端技術の導入を推進するため、県はどのように取り組んでいくのか。

答

三村知事

先端技術の導入を推進するため、メーカーや県産業技術センター等と連携しながら、生産現場において、効果の検証に取り組んでいる。今後は、生産者や企業、国の研究機関等をメンバーとする作物別の検討会において、技術ニーズを共有しながら、先端技術を活用した新たな栽培体系を検討するとともに、特に開発が遅れている野菜や果樹の分野での技術開発を促していく。



ドローンによる農業散布



ぬま お けい いち  
**沼尾 啓一 議員**  
会 派：自由民主党  
選挙区：上北郡

**問**  
青森県基本計画  
地域別計画

青森県基本計画地域別計画の推進にあたって、市町村とどのように連携していくのか。

**答**  
企画政策部長

市町村の企画担当課長などをメンバーとする地域活性化協議会において、地域別計画に基づく取組内容の点検や次年度の事業構築の検討などに取り組みほか、各市町村の取組を本庁各部署及び地域県民局が引き続き支援し、県と市町村等が方向性を共有しながら、各地域や市町村の特性を生かした生業づくりや、持続可能な地域づくりを進めていく。

**問**  
中小企業の事業承継

県内中小企業の円滑な事業承継に向けた県の取組について伺う。

**答**  
佐々木副知事

県内中小企業の後継者不足は、地域経済の衰退につながることから、県では、商工団体、金融機関、士業団体等で構成される連絡会議を運営しているほか、後継者不在企業等を対象としたヒアリング調査やセミナーの開催などに取り組んでいる。来年度は、企業訪問を実施し、早期の事業承継診断を促すとともに、専門家派遣により支援機関をサポートし、県内中小企業の円滑な事業承継を促進する。



事業承継研修会の様子

**問**  
UIJターン就職に係る連携協定

首都圏等大学とのUIJターン就職促進に関する協定締結の目的及びこれまでの取組状況について伺う。

**答**  
企画政策部長

県外に進学した学生の県内への還流促進には、本県の「しごと」や「くらし」の魅力に関する情報を確実に届けることが重要であり、そのためには大学等との連携が効果的と考え、これまで県外大学等11校と協定を締結した。今後も協定締結大学等との連携を一層強化し、人材還流に向けた実効性のある取組を進めていきたい。



はたけやま けい いち  
**畠山 敬一 議員**  
会 派：公明・健政会  
選挙区：八戸市

**問**  
防災・減災対策

幅広い世代において防災に対する認識を深めてもらうには、防災や減災対策の普及啓発を図る取組が更に必要と考えるが、県の考えを伺う。

**答**  
危機管理局長

地域防災の次代を担う若い世代や子どもに対する継続的な防災教育を推進するための環境づくりを教育委員会と連携しながら、学校、家庭、地域一体で構築したい。具体的には、防災教育活動支援ツールの製作や、教員や地域住民等への普及啓発を実施し、学校を軸とした地域防災体制や学校の危機管理体制の強化に取り組みたい。

用語解説



学生UIJターン就職促進に関する協定

首都圏等に進学した本県出身学生の本県への就職・定着促進に向けて、学生や保護者等への県内企業等の情報提供などでの大学との連携を強化するため、県外大学との協定締結を推進している。



まつ た まさる  
松田 勝 議員  
会 派：日本共産党  
選挙区：八戸市

### 問

#### 国民健康保険の保険料

国民健康保険における子ども均等割保険料の賦課について、県の見解を伺う。

### 答

#### 健康福祉部長

国民健康保険の保険料には、被保険者数に応じて賦課される被保険者均等割保険料があることから、子どもが増えても保険料は変わらない被用者保険と異なり、子どももその人数により保険料が増減する。このため、県では、医療保険制度間の公平の観点から、子どもに係る保険料の軽減措置の導入について、全国知事会を通じて国に要望している。

### 用語解説

#### 児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策

児童虐待については、相談対応件数が年々増加しており、重篤な事例も発生するなど、深刻な状況となっている。こうした現状に対処するため、国では、緊急に実施する重点対策として、転居した場合の児童相談所間における引継ぎルールの見直し・徹底や、児童相談所と警察の情報共有の強化など、児童虐待防止のための総合的な対策を講じている。

### 問

#### 児童虐待への対応

国の「**児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策**」を踏まえた本県の対応状況について伺う。

### 答

#### 健康福祉部長

県では、昨年7月に国が取りまとめた緊急総合対策を踏まえ、ケースの緊急性や重症度が確実に伝わるような児童相談所間の引継ぎを徹底しているほか、児童虐待の通告を受けた後、原則として48時間以内に目視による安全確認などを行うとともに、子どもの安全確認や安全確保を的確に行うため、本年2月に児童相談所と警察との情報共有に関する協定を締結した。

### 問

#### 競技力向上

競技力向上に向け、本県出身選手及び指導者の県内定着を図るべきと考えるが、今後の取組について伺う。

### 答

#### 教育長

本県出身の優秀な選手の中には、中学校又は高等学校卒業後、更に高いレベルの競技環境を求め県外で競技を継続し、その後、指導者となった後も県外に留まる方々が見受けられることから、県教育委員会では、来年度から、地元出身の選手及び指導者を受け入れる企業等の情報収集を行うなど、優秀な人材の獲得に向け取り組むこととしている。



きく ち けん たろう  
菊池 憲太郎 議員  
会 派：自由民主党  
選挙区：むつ市

### 問

#### 新規就農者対策

全県及び下北地域において、新規就農者をどのように育成していくのか。

### 答

#### 三村知事

新規就農者が経営を早期に軌道に乗せられるよう、就農初期から定着期まで切れ目のない支援に努めている。下北地域においては、新年度から地域県民局が独自に「新規就農者『農業力』養成塾」を開講し、栽培技術や経営管理能力の向上に取り組みほか、販売力向上研修や産直市「しもきたマルシェ」での実践活動を通じてスキルアップを図ることとしている。



しもきたマルシェの様子





こひやま よしのり  
**小松山 吉紀 議員**

会派：自由民主党  
選挙区：三沢市

**問**

**県立三沢航空科学館  
リニューアル**

県立三沢航空科学館リ  
ニューアルの概要につい  
て  
伺う。

**答**

**企画政策部長**

開館から15年が経過し、展  
示物の老朽化とともに来館  
者が減少していることから、  
リニューアルによって新た  
に宇宙ゾーンを追加するな  
ど、時代にふさわしい新たな  
魅力を持った施設とするた  
め、航空・宇宙にまつわる体  
験型展示の新設、展示解説の  
多言語化の対応のほか、地元  
企業の取組や先端技術を紹  
介する企業・試験研究機関と  
の共同展示ブースの設置な  
どを計画している。

**問**

**上北地域における漁業振興**

太平洋沿岸地域のホッキガ  
イ生産力向上に向けた県の取  
組について伺う。

**答**

**農林水産部長**

沿岸漁協などで構成する「北  
浜海域ほっき貝資源対策協議  
会」では、小型貝の移殖放流等  
で資源確保に取り組んできた  
ものの、稚貝の資源量を把握  
できていなかったため、県で  
は稚貝用の調査漁具を開発し、  
稚貝の生息を確認したほか、  
カシパン類と呼ばれるウニの  
仲間が多い場所では、生息数  
が少ないことを確認した。今  
後は、協議会が主体となって  
調査を継続するほか、県では、  
カシパン類の効率的な駆除方  
法等を検討していく。



県産ホッキガイ

**問**

**三八地域へのインバウンド誘致**

三八地域へのインバウンド  
誘致の取組について伺う。

**答**

**観光国際戦略局長**

海外旅行会社等の関係者  
を招請し、旅行商品造成や  
情報発信を促進するととも  
に、台湾からの教育旅行の  
誘致や香港でのSNSを活  
用したキャンペーン、中国  
の少年アイスホッケーチー  
ムや韓国企業の研修旅行の  
誘致を図るなど、三八地域  
ならではの強みを生かした  
取組を展開しており、今後  
も関係市町村等と連携しな  
がら、海外からの誘客促進  
に取り組んでいく。



なつ ぼり こう いち  
**夏堀 浩一 議員**

会派：自由民主党  
選挙区：三戸郡

**問**

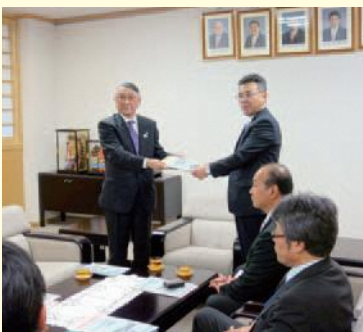
**国道104号県境部のバイパス整備**

国道104号田子町夏坂と  
国道103号秋田県鹿角市大  
湯間を結ぶバイパス整備につ  
いて伺う。

**答**

**県土整備部長**

当該区間のバイパス整備に  
ついては、地元市町議会議員  
による協議会における国への  
要望活動の実施など、熱心  
に取り組まれていると認識し  
ている。県では、これまで、秋田  
県との意見交換や現地調査を  
行ったほか、今年度からは調  
査費を確保し、当該区間の道  
路現況等の調査を実施してい  
る。今後も秋田県と情報交換  
を図っていくとともに、道路  
利用の実態把握や課題整理に  
必要な調査を行っていく。



議長への要望活動の様子



こむら かず お  
**古村 一雄 議員**

会派：無所属  
選挙区：青森市

**問**

**平成の大合併の検証**

平成の大合併の検証の必要性について、県の認識を伺う。

**答**

**総務部長**

県では、いわゆる「平成の合併」が平成21年度末をもって一区切りを迎えたことから、その時点における合併効果等についてとりまとめ、平成22年2月に公表した。合併市町においては、その後、市町村建設計画等に基づき、まちづくりを進めているところであり、当該計画の終了時期や進捗状況を踏まえつつ、合併市町の意見も伺いながら、再度のとりまとめを検討していきたい。

**問**

**青森市における  
いじめの重大事態**

本事案に伴う教職員の懲戒処分について、県教育委員会はどのように考えているのか。

**答**

**教育長**

本事案については、その結果の重大性に疑いの余地はないが、一方で、職員や学校側のような行為・対応をもって、その結果をもたらした過失行為として認定できるのかという難しい法的課題を抱えており、本報告書の内容から、職員や学校側に懲戒処分に相当する非違行為があったとまで判断することは難しいものと考えている。

県議会本会議と特別委員会の模様はインターネットでライブ配信しています。過去の議会映像もご覧いただけます。

●詳しくは「青森県議会インターネット中継」で検索してください。

**問**

**社会全体での子育て支援**

社会全体で子育て支援を推進していく必要があると考え、県の考えを伺う。

**答**

**三村知事**

少子化対策は本県の喫緊の課題であり、地域を挙げて子育て支援に積極的に取り組んでいくことが重要である。このため、市町村の子ども医療費給付に対する助成について、昨年10月から所得制限の緩和により対象範囲の拡大を図ったほか、妊娠から子育てまでの切れ目のない支援を推進してきた。今後も、県民が安心して子どもを産み育てられる最適の地としての青森県を目指し、全力で取り組んでいく。



てらだ たつや  
**寺田 達也 議員**

会派：自由民主党  
選挙区：五所川原市

**問**

**UIJターン就職促進**

UIJターン就職先として「選ばれる青森」とするため、どのように取り組んでいくのか。

**答**

**三村知事**

県外からの人材還流を促進するため、新規卒業者向けの合同企業説明会や、県内企業と転職希望者を結び付ける人材マッチング等を行ってきたほか、昨年8月には青森県合同移住フェアを首都圏で開催し、本県へのUIJターン就職・移住を働きかけた。新年度は首都圏の大学等で県内企業の魅力と本県の暮らしやすさをアピールする就職相談会や、北東北3県連携による合同企業説明会を新たに実施する。



青森県合同移住フェアの様子





もり うち の ぼる 議員  
森内之保留

会派：自由民主党  
選挙区：青森市

問

県立中央病院ハイブリッド手術室

ハイブリッド手術室の活用拡大に向けた今後の見通しについて伺う。

答

病院局長

今後、大動脈弁狭窄症の患者さんの増加が見込まれることから、より安全かつ低侵襲で高度な術式として、心臓を停止させずにカテーテル治療で人工弁に置き換える「経カテーテル的大動脈弁置換術」を行うこととし、施設認定の早期取得に向けて取り組んでいる。また、手術時間の短縮や、低侵襲な術式の選択が可能となり、患者さんの体への負担の大幅な軽減、早期退院などが期待できることから、脳神経外科や整形外科領域等でも順次活用していきたい。

問

大規模災害対策

大規模地震をはじめとした大規模災害に備え、県としてどのような対策を講じているのか。

答

青山副知事

災害対策本部機能を強化するための体制の見直しや、災害時における応援・受援計画の策定、各種対応マニュアルの作成等に取り組んでいる。昨年12月に新たな市町村相互応援に関する協定を締結したほか、2月18日には、災害対策本部図上訓練を実施した。今後も各市町村や関係機関との連絡・連携体制の構築に取り組み、県全体の防災対策の強化を図る所存である。



災害対策本部図上訓練の様子

## 新幹線・鉄道問題対策特別委員会が 県外調査を実施しました。

新幹線・鉄道問題対策特別委員会は、1月11日にJR北海道函館新幹線総合車両所において、青函共用走行区間の高速化に関する調査を実施しました。

同車両所車庫では、高速確認車の開発状況についてJR北海道から説明を受け、意見交換を実施したほか、実車を視察しました。

また、引き続き、同車両所函館新幹線工務所では、昨年9月に行われた新幹線の速度向上試験の結果や、レール削正作業の進捗状況、高速確認車や誤進入防止システムの開発状況、今後のスケジュール等についての説明を国土交通省等から受け、質疑応答を行いました。



函館新幹線総合車両所車庫における高速確認車の視察



## 予算特別委員会が開催されました。

3月7日の本会議で、委員22名で構成する予算特別委員会が設置され、本会議後の組織会で委員長に横浜力議員(自由民主党)、副委員長に花田栄介議員(自由民主党)が互選されました。

3月8日及び11日に、平成31年度青森県一般会計予算案をはじめ、付託された17議案について、9名の委員による質疑が行われ、質疑後、付託された17議案はすべて可決されました。主な質疑の内容は以下のとおりです。



横浜 力 委員長

問

次期観光戦略の基本的な考え方について伺う。

答

新たな観光戦略の中で、本県が魅力ある旅の目的地として世界から選ばれ、観光産業が基幹産業となり、地域をけん引する原動力となることを、10年後のめざすべき姿として掲げている。

この将来ビジョンの実現に向けては、観光客数の増加など「県内総時間」を拡大する量的な視点とともに、消費効果の拡大の視点から、本県滞在中の時間をより充実したものとす「滞在の質」を高める取組も推進していくこととしている。

### 予算特別委員会について

予算特別委員会は、予算議案(当初予算案)が議会に提出された際、その審査のために設置される。審査日数は4日程度とされ、委員数はおおむね議員の半数とされている。



採決の様子



質疑の様子

問

りんご産地における労働力不足に対応して加工専用園の定着を推進するべきと考えますが、県の取組について伺う。

答

加工専用園の展示圃を設置し、生果用のりんご栽培と比較して、摘果作業や着色管理などの作業時間が4割程度削減できる上、収量が1.5倍程度増加することを実証したほか、県りんご協会と連携して、生産者と加工業者とのマッチングを行った。

今後は、加工専用園の定着に向けて、生産者組織等と加工業者の連携体制づくりを進めるほか、高齢化などにより栽培管理が困難となった園地等を加工専用モデル園として活用し、複数の生産者による協働運営方式の実証を行うこととしている。

# 「平成30年度高校生模擬議会」に広報図書委員が参加しました。

「平成30年度高校生模擬議会」が、平成31年2月5日に、県選挙管理委員会の主催で開催されました。

この模擬議会は、これから有権者となる高校生を対象に、政治や選挙に対する関心を高めることを目的に開催されているものであり、今回で3回目となる模擬議会には、県内高等学校3校から代表生徒が参加し、また、県議会からは、県議会広報図書委員会委員が参加しました。

実際の模擬議会においては、小松山吉紀広報図書委員長（模擬議会議長）による進行の下、代表生徒から、青森県を活性化させるための政策提案・意見発表が行われ、広報図書委員が質問や意見を述べました。



小松山 吉紀 委員長  
(模擬議会 議長)

## 「青森を見つめなおす ～課題&魅力探検隊～」



八戸聖ウルスラ学院高等学校



伊吹 信一 委員



櫛引 ユキ子 委員

## 「Proactive action in Aomori」



青森県立八戸東高等学校



鳴海 恵一郎 委員



山口 多喜二 委員

## 「一高生が考える青森県の未来予想図」



五所川原第一高等学校



田中 満 委員



松田 勝 委員



# 請願・陳情について

## ■請願・陳情とは

行政に広く民意を反映させるためにはいろいろな方法がありますが、その一つに請願があります。請願とは、私たちが国又は地方公共団体の機関に対し、その職務に関する事項の執行・措置等について意見や要望を述べることをいいます。陳情も、請願と同様の目的で行われます。県議会に提出された請願や陳情については、審査の結果、内容が適当と認めるときは採択し、県政の運営に反映するよう努めます。

## ■請願(陳情)者及び請願(陳情)事項

県議会に対する請願(陳情)は、個人・団体の別を問わず、どなたでもすることができます。また、請願(陳情)事項については、県の事務に関することが一般的ですが、特に制限はありません。

## ■請願書(陳情書)の作成

**表紙**

〇〇〇に関する請願書(陳情書)

提出者 住所 (法人にあっては、所在地)  
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 外〇〇名

紹介議員 氏名 〇〇〇〇 ㊟ (署名又は記名押印)

【A4縦長】

### 「表紙」に記載する事項

- ◆**件名**  
「〇〇〇に関する請願書(陳情書)」と簡潔に表現してください。
- ◆**提出者**  
住所は、「法人の場合にはその所在地」を記載してください。氏名は、「法人の場合にはその名称及び代表者の氏名」を記載してください。
- ◆**紹介議員(の氏名)**  
請願の場合、紹介議員が署名又は記名押印すること。

※請願には紹介議員が1名以上必要なので、県議会議員の紹介を得てください。ただし、正副議長及びその請願を審査する常任委員会の正副委員長は紹介議員にならないことになっています。なお、陳情の場合は、紹介議員は不要です。

**本紙**

〇〇〇に関する請願書(陳情書)

趣旨  
(請願(陳情)しようとする具体的な内容及び理由について、明確に記載すること。) 以上のとおり請願(陳情)いたします。

〇年〇月〇日

住所 (法人にあっては、所在地)  
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ㊟ (署名又は記名押印)  
(連署による場合は、全員が住所欄及び氏名欄のとおり記載し、署名又は記名押印すること。)

青森県議会議長 〇〇〇〇 殿

【A4縦長】

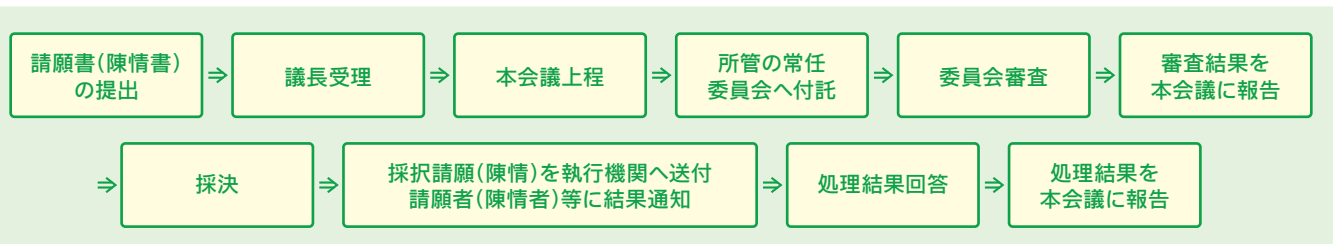
### 「本紙」に記載する事項

- ◆**件名**  
表紙の件名を記載してください。
- ◆**趣旨**  
請願しようとする内容について、簡潔に記載してください。請願しようとする理由について、わかりやすく記載してください。
- ◆**提出者**  
住所は、「法人の場合にはその所在地」を記載してください。氏名は、個人の場合は、署名又は記名押印ください。※法人の場合は、その名称及び代表者の氏名を記載の上、代表者印を押印ください。提出者が複数の場合は、上記の要領で全員住所・氏名等を記載してください。
- ◆**提出先**  
「青森県議会議長 〇〇〇〇 殿」と記載してください。

## ■請願書(陳情書)の提出

- 青森県議会議長(議長の氏名を記載)あてとし、議会議務局に提出(1部)してください。
- 請願書(陳情書)はいつでも提出することができますが、定例会の一般質問初日午後1時まで提出されたものについてはその定例会で審議されることとなっていますので、提出の際にはご留意願います。具体的な締切り日時については、県議会ホームページでご案内している定例会の予定でご確認ください(締切り後に提出された請願は、次の定例会で審議されることとなります。)

## ■請願(陳情)の取扱い



## 第297回定例会で可決された知事提出議案(119件)

- ◆平成31年度予算関係(17件)
  - 平成31年度青森県一般会計予算案
  - 平成31年度青森県公債費特別会計予算案など特別会計14件
  - 平成31年度青森県病院事業会計予算案
  - 平成31年度青森県工業用水道事業会計予算案
- ◆平成30年度補正予算関係(16件)
  - 一般会計2件、特別会計12件、病院事業会計1件、工業用水道事業会計1件
- ◆条例関係(57件)
  - 青森県土地権利等取得裁定等申請手数料等徴収条例案
  - 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案
  - 職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例案
  - 職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例案
  - 外国語指導員等の給料及び旅費に関する条例を廃止する条例案
  - 青森県職員定数条例の一部を改正する条例案
  - 青森県獣医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例案など51件
- ◆工事の請負契約関係(1件)
  - 駒込ダム本体建設工事に関する請負契約
- ◆財産関係(19件)
  - 権利の放棄の件
- ◆人事関係(1件)
  - 青森県人事委員会委員の選任の件
- ◆その他(8件)
  - 青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議の件など8件



## 第297回定例会で可決された議員提出議案の内容

- 意見書** ○原子力発電・核燃料リサイクル施設の新規制基準適合性審査等についての意見書  
 (意見書の内容)立地地域の理解と協力のためにも、新規制基準適合性審査が厳正さらには迅速に行われるよう、また、立地地域の実情等を踏まえ地域振興対策の充実・強化が図られるよう国に対し要望。
- 条例** ○青森県がん対策推進条例の一部を改正する条例  
 (条例の内容)受動喫煙の防止に係る県民、多数の者が利用する施設の管理者及び20歳未満の者に対する監督保護を有する保護者が配慮しなければならない事項を定める。

県議会からのお知らせ ○あomor県議会だよりに関するご意見・お問合せについて  
 〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課 電話 017(734)9797(直通)